

学位論文審査の結果の要旨

氏名	孫 蓮叶
審査委員	主査 糸原 義人 (印) 副査 小林 一 (印) 副査 内田 和義 (印) 副査 能美 誠 (印) 副査 松田 敏信 (印)
題目	農村労働力流動による非農業就業および農業生産に係わる社会経済的環境改善に関する研究 —中国西安市における農村地域を事例として—
<p>中国の社会構造は特殊で、農村戸籍、都市戸籍によって人々の社会経済活動は制約を受けている。改革開放以前の中国は都市における重工業優先であり、農村労働力の都市への流入は厳しく制限され、農村労働力は工業化の進歩に関与することはできず、強い都市・農村二元社会が構築されていた。</p> <p>改革開放後、中国は急速な経済成長を遂げるが、農村から都市への労働力移動がままならない中国では、農村に郷鎮企業、个体経営企業等を主とした農村工業化が進められ、農村内部で農業・非農業労働力を創出し、農村の二重就業構造を創り出す一方、都市では正社員としての正規部門、一時雇用的な非正規部門への就業という、都市における二重就業構造が確立されていた。この都市の非正規部門に農村から出稼ぎ労働力として農村労働力が流入することになる。勿論こうした出稼ぎ労働者の戸籍は農村戸籍であり、都市に永住することはできず、都市に長年居住したからといって正規の従業員として就職できる訳ではない。問題は、こうした都市・農村内労働力と農村から都市へ流れる出稼ぎ農村労働力流動が現代中国の経済成長に果たす役割、その意義、そしてその課題は何かということであり、また出稼ぎ農村労働力流動を生み出す農業生産性は如何なるものなのか、その現状を把握することである。</p> <p>本論文では中国農村労働力就業および農業生産性問題に焦点を当て、①農村労働力の非正規就業、②郷鎮企業雇用の低迷問題、③家族経営下での農業生産と兼業労働の関係、④農業機械と労働力の代替性、⑤農村労働力就業による社会経済的環境改善について分析され、改善策が提言されている。</p> <p>本論文は序章と終章を含めて全8章から構成されており、</p> <p>第1章「農村労働力の流動と非正規就業の実態」では、「四重経済」構造下における農村での労働力流動と都市での出稼ぎ労働を取り上げ、中国農村労働力の流動方向と流動プロセスを明らかにすることによって、農村労働力の都市での非正規就業実態を把握することで、社会ネットワークへの依存性を指摘している。また、私営内装企業の調査を通じて都市のインフォーマルセクターにおける「包工頭」下の請負労働の構造および出稼ぎの生活実態を明らかにしている。</p> <p>第2章「郷鎮企業の生産関数と雇用低迷の規定要因」では、コブ＝ダグラス型生産関数とCES型生産関数を用いて郷鎮企業の生産関数を観察したうえで、現在の郷鎮企業の雇用効果を評価し、その雇用低迷の要因を解明している。また、実態調査によって内陸部における郷鎮企業の雇用実態についても明らかにしている。</p> <p>第3章「都市近郊農家の農業生産と兼業労働の実態」では、兼業労働と農業生産の相互関係の下での家族経営を考察することによって、農業経営の零細性と農業従事者の質に関する問題点を指摘している。農家の労働形態と兼業状況、農家当たりの農業生産と兼業労働に関して回帰分析を施すことによって、内陸部都市近郊の農業生産と兼業労働の実態について、兼業労働が農業生産に及ぼしている影響を明らかにしている。</p>	

第4章「農業機械動力と労働力の代替効果に関する実証分析」では、農業近代化の進捗状況を明らかにするために、農業機械と労働力の代替効果について理論的分析を行うとともに、限界代替率を計測することによって、中国における農業機械化の進展および農業機械動力と労働力の代替効果を明らかにしている。また、各省の農業機械動力と労働力との代替の有効性について考察している。

第5章「中国の農業機械化と農業生産組織の役割」では、まず中国農業機械化の現状を概観し、その影響要因を明らかにしている。また、中国農業生産組織誕生の経緯を通じて農業機械専業合作社の役割を解明し、更に、中国内陸部都市近郊の西安市農業機械専業合作社を事例として、農業機械化の進展による農村余剰労働力流動の促進、そして、有能な農業従事者および農業経営者の農業部門への吸収およびその拡大の可能性について把握している。

第6章「農村労働力就業の社会経済的環境改善の課題」では、農村労働力の非農業就業および農業機械化生産を促進するために、農村労働力就業の社会経済的環境改善を呼びかけ、第1～5章の結論を基に、農村労働力の社会経済的環境改善の課題を明らかにしている。更に、農村労働力の非農業就業行動に伴う社会経済的問題に配慮しながら、農民自身の意識転換および政府の役割の面から農村の城鎮化・都市化を通じて以下の3点において、農村労働力就業構造の転換、職業仲介組織の規範化から、農村労働力の農業労働および非農業就業の社会経済的環境改善案を策定している。策定内容は、

- 【1】 農村では農村の城鎮化から城鎮の都市化、更に都市の近代化という路線に沿って発展していけば、農村労働力就業、生活、教育などに関する社会経済的環境問題の解決が可能となる。
- 【2】 中国の社会政策が残した「負の遺産」により、農村労働者自身の問題が深刻化している。知識と技能の教育研修だけでなく、新たな思想と考え方、価値観の社会教育も必要である。
- 【3】 全国の各地域をカバーしている NPO 職業仲介ネットワークセンターの役割は、農村労働力だけではなく、全ての中国の労働者に対応していると考えられる。社会経済の近代化を目指すとともに、労働者自身の素質の向上およびテンポもその近代化に追いつく必要がある。

以上、本論文では中国における農村労働力の非正規就業化、郷鎮企業の雇用低迷、農業機械動力と労働力の低い代替性、中国農業機械化の立ち遅れ等を明らかにしながら、農業機械専業合作社の役割と機能および既往研究成果に依拠しながら、農村城鎮化建設を通じて、職業仲介組織の規範化の面から農村労働力の農業生産および非農業就業の社会経済的環境改善策が提言されており、中国における農村労働力問題と今後の問題解決策が明らかにされている。

人口の8割が農村戸籍を有する中国での生活改善は、農村就業人口の就業改善が求められる。しかし、農村部での郷鎮企業の雇用低迷と都市での非正規就業者としてしか認められない農村労働者の生活改善は厳しい。こうした現実に対応できる施策展開を行った本論文は、中国における農村発展、農村改革に大きな役割を担うものと思われる。

以上、ここで得られた成果は、今後中国における農村の生活改善を進める上で極めて有用な知見として高く評価されるものであり、本論文を学位論文として十分な価値を有するものとして判定した。